

Donald McDonald House Charities Japan

Annual Report 2011

2011年 年間報告書



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン





■財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動をしています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には300以上ハウスがあります。

以上のように、この公益財団は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。

■財団の概要

名 称： 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

所 在 地： 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階

目 的： 本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。

事 業： ①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業
②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業
③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業
④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

設 立： 平成11年4月1日

主務官庁： 内閣府



Donald McDonald House Charities Japan	1
公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて	

特集 Letter From The Family ご家族からの手紙	3
---	---

Messages	
ご挨拶	5

House Infomation	
ハウス紹介	9

特集 Donald McDonald House New Open 「東大ハウス」オープン!!	17
--	----

Volunteer Activities	
ボランティア活動	21

Grant & International Exchange Programs	
助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業	22

Others	
いろいろなサポート	23

Topics 2011	
財団活動トピックス2011	24

特集 Messages From Families 家族からのメッセージ	28
---	----

Messages From Supporters	
応援メッセージ	31

Financial Report	
決算報告	33

Board of Directors, Councilors and Selection Members	
役員・評議員・選考委員の紹介	36

Our Supporters	
サポーター紹介	37

Messages

ご挨拶



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

理事長 柳澤 正義
Masayoshi Yanagisawa
Chairman
Donald McDonald House Charities Japan

全国、全世界を震撼させた東日本大震災から1年が経ちました。被災地の復旧・復興の歩みは、遅いながらも着実に進んでいるようです。医療の分野においても、震災直後から全国の医療関係者・団体による懸命の救援活動が行われましたが、現在もなお支援が必要な状況が残っています。もともと医療過疎であった被災地の医療復興には、これからも大規模な、あるいは草の根的な支援が求められています。その中で「せんだいハウス」は、宮城県立こども病院に入院している多くの被災した患者さんご家族を支援しています。大震災以来ほとんど常に満室の状態で、ハウスのエアコンの位置が少しずれたままで、壁のクロスにヒビが入ったままになっているなど、「せんだいハウス」自体の被害を修理する余裕がない状態です。しかし、ハウスの存在が、被災した方々の物心両面を支え、お役に立っている、ということが現場のハウスマネージャーはじめ、スタッフ、ボランティアの皆さんの士気を奮い立たせています。被災地が少しでも早く復興されることを心から祈念しています。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」を日本に招聘することに注力された開原成允前理事長の急逝の後、私が後任として

理事長をお引き受けしてから1年余が経ちました。私の専門分野である小児医療は、専門分化・高度化が進むとともに、医療圏もますます広がり、中核医療施設には遠隔地から入院される患者さんも多くなっています。そうした患者さんのご家族を支えるのがドナルド・マクドナルド・ハウスである、ということを実感して認識した1年でもありました。毎日厳しい状況下で付き添いにあたっているご家族に少しでもくつろいでいただきたい、そして笑顔で入院中の子さんに接していくだけ、1日も早く良くなってお家に帰っていただきたいという思いを一杯にして、スタッフや1,200人を超えるボランティアの方々とともにハウスでご家族をお迎えしたいと願っています。

一方、ハウスを整備し、それを運営していくには、莫大な費用がかかります。日本マクドナルド株式会社をはじめ、多くの企業からのご寄付、個人から頂戴する浄財、マクドナルドの店舗内の募金箱に入れてくださる善意、これらすべてのお蔭でハウスは成り立っています。私たちは、今後とも病気のお子さんとそのご家族のために努力していく所存ですので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

It has been a year since the Great East Japan Earthquake shocked the entire nation of Japan and the whole globe. The progress of rehabilitation and restoration of the affected areas has been slow but steady. The areas still need medical support while many medical professionals and organizations visited there and devoted themselves to rescue efforts immediately after the disaster. The affected areas that had been suffering from healthcare service scarcity even before the earthquake continue to need major or grass-roots medical support. Under these circumstances, the "Donald McDonald House Sendai" is supporting many families of affected patients hospitalized in the Miyagi Children's Hospital. The House has been almost fully occupied since the earthquake hit the area and DMH still cannot afford to repair such damages as air conditioners slightly out of the right position and cracks on wallpapers. Yet the fact that the very presence of the House supports and helps affected people physically and mentally is boosting the morale of the staffs and volunteers. I truly wish all of the affected areas will be restored as soon as possible.

More than a year has passed since I assumed the position of chairman of DMHC after the former Chairman Shigekoto

Kaihara who had made focused efforts to invite DMH to operate in Japan passed away suddenly. The field of pediatric medical, my specialized domain, has been specialized and advanced increasingly and its geographical coverage has been expanding. There are more and more patients coming from remote areas to be admitted into core medical facilities. And over the past year, I realized DMH do exist to support families of these patients. I would like to welcome and serve these families with our staffs and more than 1,200 volunteers in true hope that these families who take care of their children in severe conditions everyday will be relaxed as much as possible so that they can meet their hospitalized children with a smile, and that the children will get well and go home as soon as possible.

Yet it takes enormous cost to develop and operate the Houses. We can keep operating the houses thanks to donations from McDonald's Japan and many other donors as well as good-will contributions to donation boxes in McDonald's restaurants. We will keep doing our best to support sick children and their families and would greatly appreciate your continuous support and assistance.



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

専務理事 廣瀬 修
Osamu Hirose
Chief Executive Director
Donald McDonald House Charities Japan

2011年は、日本に最初のドナルド・マクドナルド・ハウスが誕生して10周年となる記念すべき年でした。この年に国内8号目となる「東大ハウス」を東京大学の本郷キャンパス内に開設することができたこと大変嬉しく思っております。

1974年にアメリカで始まったこの活動も40年近く経つた今、世界中に拡がっておりハウスの数も31カ国・315カ所にまで増えてまいりました。

日本でもこの10年で8カ所のハウスが開設され、延べ22,500以上のご家族にご利用頂けるまでに育ってきました。今では小児医療にとってハウスはなくてはならない存在になったと思っています。

しかし将来を見据えこの活動をより成長させていくためには、まだまだ充分ではない分野があると考えます。これまで私どもは小児病院や母子医療に力を入れている病院のすぐそばに、家族の滞在できるハウスの建設と運営を進めて参りました。利用された多くのご家族からは感謝の声が寄せられ、さらには医療従事者や地方自治体からもハウス建設の要望を多く頂いており、やはりハウスは必要不可欠であると実感しています。さらに今後はこのハウスの運営だけでなく、小児医

療全般を考え必要としている支援を推し進めていきたいと考えています。私達より長い歴史を持つオーストラリアの財団は、ハウス事業以外に入院している子どもへ家庭教師を派遣したり、ターミナルケアの子どもとその家族が楽しめるビーチハウスを運営するなどニーズにあったプログラムを開発し活動しています。日本も諸外国の財団を手本にし、福祉大学のようにボランティアを輩出している人たちが参画できる仕組みを作りながら、日本の小児医療がかかえている問題をサポートできるようなプログラムを開発し、活動の幅を広げて支援活動を継続していきたいと考えております。

私も永年にわたって子ども達への福祉活動に携わってきましたが、未来を担う子ども達が元気で活き活きとした姿を見るのは本当に喜びです。これからも微力ではありますが困難な子ども達のために精一杯頑張ってまいります。

今までご支援いただいた多くの皆様に厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも変わらぬご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

necessary from the perspective of the overall pediatric healthcare. RMHC Australia that has a longer history than ours also develops and implements programs that meet needs of sick children and their families, including sending tutors to hospitals for hospitalized children, and operating "Beach House" to provide fun to children in terminal care and their families. DMHC Japan intends to model on RMHC activities in other countries to create a system that people and institutions producing volunteers, such as welfare colleges, can participate in and develops programs to support efforts to solve pediatric care problems in Japan to expand our activities and continue providing support services.

I have been involved in activities for children's welfare for many years and it has been always great pleasure to see healthy and lively children. I will continue to do my best to support children in difficulties.

I would like to express my sincere gratitude to many people who provided cooperation and support and would appreciate your continued support.

Messages

ご挨拶

東京大学医学部附属病院

病院長 門脇 孝

Takashi Kadowaki
Director
The University of Tokyo Hospital



東大病院には、150年余りの歴史があり、臨床医学の発展と医療人の育成に努め、個々の患者に最適な医療を提供することを目指し活動してきました。近年は、小児医療にも大きな力を入れ、100床の小児医療センターを立ち上げ、東京都のこども救命センターにも指定されるなど小児医療の中核医療機関として活動しています。重症患者も積極的に受け入れ、年間延べ10,500人の小児患者が入院しています。

小児医療では、入院中の家族の付添いが特に重要です。家族の付添いがあつてこそ、子どもが病気と闘う勇気を与えられ、病気の快復と健やかな成長が得られるからです。これまで、遠距離から通つたり、近隣のホテルに宿泊したり、付添いをするご家族に大きな負担がかかる場合が少なくありませんでした。これは、東大病院に入院する子どもたちのために、どうしても解決したい問題でした。そのような時に、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンをはじめとする関係者のご尽力で、昨年の12月に東大ハウスが完成し、本年1月から運用を開始することが出来るようになりました。私どもは、このハウスのオープン

The University of Tokyo Hospital (Todai Hospital) has a history of over 150 years, during which we have brought about advancements in clinical medicine and developed healthcare professionals while aiming to provide each patient with the best medical care. In recent years, we have been placing strong emphasis on pediatric care as we have established a 100-bed pediatric care center and have been designated as an emergency center for children in Tokyo as a core pediatric medical institution. Our hospital proactively accepts seriously ill patients and admits 10,500 pediatric patients annually.

In pediatric care, it is especially important for families of hospitalized patients to provide care and support near their children. Having their families provide care and support nearby gives children the courage to fight their illness, helping them recover and promoting their well-being. To date, there have been a large number of families who have faced the considerable burden of providing care and support near their children while commuting from long distances or staying at nearby hotels. This was an issue that required a solution for the sake of the children staying at Todai Hospital. It was at this critical time that the DMH Todai was completed last December

が、東大病院の小児医療の更なる充実に繋がる画期的なことと、心より嬉しく思っています。

東大病院では、17年前から“にこにこボランティア”という制度をつくり、院内案内や車椅子を使う患者さんの手助けなどが、多数のボランティアさんによって支えられてきました。東大ハウスも、東大病院に根づいているボランティア精神を引き継ぎ、250名に上るボランティアの方々のご協力により運営されています。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」のオープンにあたり、東大ハウスの実現にご尽力いただきました柳澤理事長をはじめとする財団の関係者、また濱田総長をはじめとする東大本部、鉄門俱楽部や東大病院の関係者に心より御礼申し上げます。東大ハウスが、東大病院に入院して治療を受ける子ども達と付き添われるご家族にとりまして、大きな助けになることを期待してやみません。

and opened this January through the efforts of DMHC and other involved parties. We are very pleased that the opening of this House marks a milestone in the further enhancement of pediatric care at Todai Hospital.

The “nico nico [smiling] volunteer” program was launched 17 years ago at Todai Hospital, under which large numbers of volunteers provide their support to various activities such as hotel information services and assisting patients using wheelchairs. DMH Todai carries on this spirit of volunteerism rooted in Todai Hospital and is now operating through the cooperation of approximately 250 volunteers.

In the opening of DMH Todai, I would like to express my deep gratitude to the Chairman, Dr. Yanagisawa and other DMHC members for their efforts to open RMH Todai, as well as President Hamada and other University of Tokyo, Tetsumon Club, and Todai Hospital members. It is my sincere hope that DMH Todai proves to be of great assistance to children staying and undergoing medical care at Todai Hospital and their families.

愛知県

知事 大村 秀章

Hideaki Ohmura
Governor of Aichi Prefecture



思い起こせば1年余り前になりますが、私が知事に就任した早々に、中部地区で初となるドナルド・マクドナルド・ハウスが、愛知・名古屋にできるとの報告をいただきました。重い病気を患う子どもたちの医療環境の改善は、大変重要なテーマですが、ドナルド・マクドナルド・ハウスは、重い病気でやむなく家から離れ、病院に長期に入院するお子さんやご家族の皆様の療養環境の大きな支えとなるもので、そのハウスが愛知・名古屋にできると聞いて、本当にうれしかったことを今でも鮮明に記憶しています。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」の建設資金の調達にあたり、昨年12月に、松尾清一名古屋大学医学部附属病院長を発起人代表として募金委員会が立ち上がり、私も発起人の一人として名を連ねました。また、3月には、第一回募金委員会が盛大に開催され、建設に向けて一歩ずつ着実に歩みを進めています。

さて、本県では、県立のあいち小児保健総合センターを小児の三次救急医療を担う施設として、また、県立の心身障害者コロニーを地域で生活する障害のある方々を支援する療育医療総合センター(仮称)として整備していくこと

It has been more than a year since I heard the first Donald McDonald House in the Chubu Region would be built in Nagoya City, Aichi Prefecture soon after I became governor of the prefecture. Improvement of the medical environment is crucial for seriously ill children. DMH extend great support to the medical environment of children hospitalized away home over a long time for critical illness and their families. I still remember that I was very pleased to hear about the plan to open the House in Nagoya.

To finance the cost to build the “DMH Nagoya”, a fund raising committee was established in December 2011 with Dr. Seiichi Matsuo, Director of Nagoya University Hospital serving as representative founder, and I joined as the list of founders. The committee held its first meeting successfully in March and has been taking sure steps to open the new House.

Our prefecture decided to develop the Aichi Children’s Health and Medical Center into facilities to provide third clinical care and the Aichi Prefectural Colony for people with developmental disabilities into a Medical Center for Child Health and Rehabilitation (tentative name) to support people with mental and physical disabilities living in our local community and

が決まり、今年度から基本設計を行うこととしました。さらに、今年4月には、リスクの高い妊娠に対する医療及び高度な新生児医療等の中核を担う医療機関として、名古屋大学医学部附属病院を県内4か所目の総合周産期母子医療センターに指定いたしました。本県では、周産期医療を行うことができる体制のさらなる充実を推進し、安心して子どもを産み育てられる医療体制の構築に努めており、今後とも、重点的に取り組んでまいります。こうしたなか、子どもたちの医療環境をバックアップするために、「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」の早期建設を強く念願しているところあります。

最後になりますが、重い病気を患う子どもたち、そしてご家族のため、ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの更なる発展を祈念いたしております。



ドナルド・マクドナルド・ハウス
2011年の
利用家族は**3,665家族**



Donald McDonald House Setagaya

ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや

〒157-0074
東京都世田谷区大蔵2-10-10
TEL 03-5494-5534
FAX 03-3749-2267

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」
国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小
児ベッド数が460床ある国立成育医療研究センターには、
全国各地から患者が入院または通院しています。



いつでも、優しく温かく出迎えてくれる
ボランティア、スタッフの皆様がいるから
こそ、ご家族は安心してハウスに滞在し
ています。隅々まで手入れが行き届き、
何気なく置かれている小物にも気遣い
と思いやりを感じ、感動します。10年が
経ち、これから10年は日本の第1号ハ
ウスとしての役割が更に大きくそして重
要になります。「関心の輪・活動の輪が拡がる」ように、多くの皆様
のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



株式会社ドリーム
代表取締役 竹内 久雄

ハウス情報

述べ床面積 1,744.29m²
ベッドルーム数 21室
規模 地上4階建て、地下1階

2011年実績

利用家族数 752家族
総宿泊数 6,405泊
平均滞在日数 8.6日
ボランティア登録者数 215名
ボランティア活動時間数 15,597時間

収支報告 (単位:円)

収入	支出
利用料	9,667,000 紙料手当
寄付金収入	1,987,177 水道光熱費
会費収入	1,137,000 租税公課
その他	55,714 その他
財団補助額	12,841,749
合計	25,688,640 合計



Donald McDonald House Sendai

せんだい

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。



ハウス情報

述べ床面積 1,679.36m²
ベッドルーム数 16室
規模 共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)

2011年実績

利用家族数 982家族
総宿泊数 4,477泊
平均滞在日数 4.2日
ボランティア登録者数 194名
ボランティア活動時間数 13,530時間

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	6,253,000	給料手当	8,654,694
寄付金収入	4,071,095	水道光熱費	6,166,106
会費収入	927,000	租税公課	1,892,600
その他	377,336	その他	7,196,530
財団補助額	12,281,499		
合計	23,909,930	合計	23,909,930

〒989-3126
宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
TEL 022-391-1233
FAX 022-392-5535



地域に根ざした活動の一環として、管内で採れた新鮮な農産物や精米などを寄付させていただいております。また、ささやかながらも毎年、子どもたちとともに地場産もち米を餅つき大会を実施しております。私たちが生産する農産物で子どもたちが元気にすくすくと育つことを心から願っております。今後もハウスの活動を支援していきたいと思います。

JA仙台
代表理事組合長 高野 秀策



Donald McDonald House Kochi

こうち

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。



ハウス情報

述べ床面積 1,180.72m²
ベッドルーム数 16室
規模 平屋建て

2011年実績

利用家族数 290家族
総宿泊数 1,027泊
平均滞在日数 3.6日
ボランティア登録者数 97名
ボランティア活動時間数 9,147時間

〒781-0111
高知県高知市池953-10
TEL 088-837-3650
FAX 088-837-3652



南国青年会議所は40歳迄の青年が集う団体です。まさに「こうちハウス」を利用している子育て世代です。我々にも何かできる事があるのでないかと考え、2年前からチャリティゴルフコンペ等を開催しています。催しでは、ハウスの紹介をしさるにハウスに対する協力のお願いをしたところ、参加者から多くの寄付を頂く事が出来ました。同時に、ハウスの存在や状況を参加者にご理解頂けました。今年はこの思いやり溢れるハウスを更に多くの方々に知って頂けるような事業を計画しています。この思いやりの輪がどんどん拡がっていき、子どもたちの笑顔が溢れる地域の確立を目指し、精一杯活動させて頂きます。



南国青年会議所
第36代理事長 竹中 利文

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	1,367,150	給料手当	7,849,663
寄付金収入	790,067	水道光熱費	2,702,773
会費収入	300,000	什器備品費	649,005
その他	115,505	租税公課	142,400
財団補助額	14,118,503	その他	5,347,384
合計	16,691,225	合計	16,691,225



Donald McDonald House Osaka-Suita ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた

2005年10月に誕生した国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。



The image consists of two photographs. The top photograph shows a group of children and adults gathered around a large, translucent, multi-colored ball, possibly made of plastic or Mylar, which reflects the surrounding environment. One child in a white shirt is reaching up towards the ball. In the background, there are trees and a building, suggesting an outdoor park or festival setting. The bottom photograph is a close-up view of two children, a boy in a blue shirt and a girl in a white shirt, who are holding and playing with a large, clear plastic tube or hose. They appear to be part of a science demonstration or play area where they can manipulate the tube to see how air moves through it.

ハウス情報

述べ床面積 1,292.88m²
ベッドルーム数 18室
規模 共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)

2011年実績

利用家族数	464家族
総宿泊数	3,799泊
平均滞在日数	8.2日
ボランティア登録者数	141名
ボランティア活動時間数	13,828時間

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	5,120,000	給料手当	8,107,410
寄付金収入	2,838,250	水道光熱費	3,918,582
会費収入	1,288,000	什器備品費	829,531
その他	796,308	租税公課	2,701,500
吹田市補助金	2,757,100	その他	4,253,403
財団補助額	7,010,768		
合計	19,810,426	合計	19,810,426



Donald McDonald House Tochigi ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

2006年9月に誕生した国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。



「ドナルト・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた」は、国立循環器病研究センターにご入院、治療を受けている子どもたちを支えるご家族にとって、必要不可欠な存在(ハウス)になっています。子どもたちの病状に一喜一憂されながらハウスにもどり、職員・ボランティアの方々のあたたかさと誠意にふれ、明日への力を蓄えておられると思います。

私たち病院の看護師たちも、多くの子どもたちとご家族が安心して治療に専念していただけるように、ハウスとともにこれからも支えていける存在でありたいと願っております。



国立循環器病研究センター
看護部長 伊藤 文代

ハウス情報

述べ床面積 652.9m²
ベッドルーム数 7室
規模 3階建ての3階部分

2011年実績

利用家族数	347家族
総宿泊数	1,925泊
平均滞在日数	6.0日
ボランティア登録者数	174名
ボランティア活動時間数	11,479時間

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	3,054,042	給料手当	8,269,557
寄付金収入	2,796,853	水道光熱費	1,933,322
会費収入	657,000	その他	2,599,467
その他	239,941		
運営費負担金	3,354,500		
財団補助額	2,700,010		
合計	12,802,346	合計	12,802,346



Donald McDonald House Sapporo

ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ

2008年12月に誕生した国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。



ハウスとのご縁は、2009年クラブ例会の講師に福原ハウスマネージャーをお招きしたことから始まりました。以来、会員企業の協力のもと冬期間の除雪支援とトイレットペーパー寄贈を続けています。国際奉仕団体である我々としても、地域に密着した奉仕活動を行えること、特に闘病中の子どもとご家族の助けになることは大きな喜びと誇りです。今後もこの活動を通じ、ハウスの理念「温かな第2の我が家」作りのお手伝いをさせて頂きたいたと考えています。



札幌アカシヤライオンズクラブ
結成51周年記念アクティビティ実行委員長 L.高橋 俊市

ハウス情報

述べ床面積 994.2m²
ベッドルーム数 10室
規模 平屋建て

2011年実績

利用家族数 565家族
総宿泊数 2,681泊
平均滞在日数 4.8日
ボランティア登録者数 225名
ボランティア活動時間数 13,654時間

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	4,179,010	給料手当	8,036,768
寄付金収入	1,396,053	水道光熱費	4,060,946
会費収入	264,000	租税公課	1,277,000
その他	146,116	その他	3,549,345
財団補助額	10,938,880		
合計	16,924,059	合計	16,924,059



Donald McDonald House Fuchu

ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう

2010年3月、東京都府中市に日本第7号目のふちゅうハウスがオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舎棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。



ふちゅうハウスのある多摩キャンパスには、小児総合医療センター（小児センター）・多摩総合医療センター・神経病院・府中療育センター・がん検診センター・府中看護専門学校があり、小児センターだけではなく神経病院に入院している患者さんご家族も利用されています。今後、メディカルキャンパスとしての機能が充実するにつれ、色々な形での利用が増えてくるものと思われます。小児センターとハウスのパートナーとしての関係も、益々重要になるにちがいありません。これからも長いおつきあいをよろしくお願い申し上げます。



東京都立小児総合医療センター
院長 西田 朗

ハウス情報

述べ床面積 688.3m²
ベッドルーム数 12室
規模 5階建ての1階部分

2011年実績

利用家族数 265家族
総宿泊数 2,433泊
平均滞在日数 9.4日
ボランティア登録者数 137名
ボランティア活動時間数 12,108時間

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	3,336,000	給料手当	8,777,235
寄付金収入	4,005,921	租税公課	393,800
会費収入	204,000	その他	2,540,444
その他	396,814		
財団補助額	3,768,744		
合計	11,711,479	合計	11,711,479

〒183-0042
東京都府中市武蔵台2丁目9-2 東京都立
多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
TEL 042-300-4181
FAX 042-325-2266

特集2 「東大ハウス」オープン!!



施設紹介

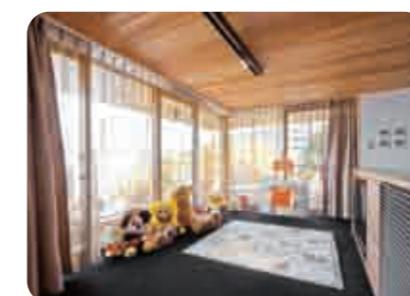
東大ハウスは東京大学医学部附属病院に隣接しています。延べ床面積が974.64m²で4階建ての建物には12家族が滞在することができ、キッチン、リビング、ダイニング、プレイルームが備わっています。



▲ベッドルーム
どの部屋もバストイレ付きのツインタイプです。
共有スペースに出てきて他の家族とコミュニケーションをとつていただく工夫としてテレビは設置していません。



▲キッチン&ダイニングルーム
自宅にいるときと同じように家族は自炊ができます。
オープンキッチンになっているので他の家族との会話を楽しみながら食事の支度ができます。



▲プレイルーム
患者そして患者の兄弟が遊べるスペースです。
常に子どもの姿が見えるように
キッチン&ダイニングルームの隣にあります。

▲リビングルーム
新聞を読んだりテレビを見たり、
家族がくつろげるスペースです。

▲ブルーナサイン
各ベッドルームのサインはミッフィーちゃんで
有名な絵本作家ディック・ブルーナさんの
イラストで表示しています。

Donald McDonald House Todai

誕生10年目に建てられた記念のハウス

ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学構内
TEL 03-3812-9877 FAX 03-3812-9688

2001年に第1号のハウスが誕生して以来、現在までに8ハウスを建設し運営しています。この10年の間、さまざまな子ども病院や地方自治体からハウス建設のお申し出をいただきましたが、それだけハウスの必要性を多くの方が感じ、ハウスの活動も認められてきていると感じています。

日本にハウスが誕生して10年経つ2011年には、ぜひ東京大学医学部附属病院内に記念となるハウスを建設したいと考え、東大病院とハウス建設に関しての協議を進めてきました。

東大病院には年間に延べ10,500人の小児患者が入院しています。中でも地方や遠方からの入院を余儀な

くされる小児患者には親の付き添いが必要で、そのための入院費、宿泊費用など家族の経済的負担は入院期間が長くなればなるほど膨らみ、小児医療における 家族への物心両面の負担を見過ごすことはできないと感じていました。

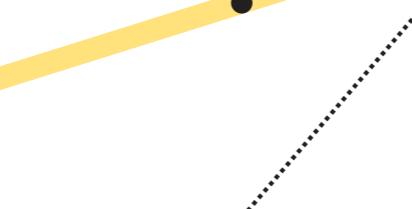
ハウスの建設は病院側からの開設への要望書が提出され、それを財団の理事会が承認し、その後ドナルド・マクドナルド・ハウス財団本部(米国)での審査を経て認可になるという手順を踏む必要があります。東大小児科の教授が病院執行部に諮り、病院長以下満場一致で誘致が決まったのはそのすぐ後でした。このようにして急速に東大ハウスの建設が決まりました。

ハウス開設までの道のり

特集2



11月



12月2日(金)



日本マクドナルド 原田CEO

東京大学 濱田総長

「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」は、全国で8号目、国立大学病院では初のハウスとして、東大病院の敷地の一隅に建設されました。2011年12月2日に開所式ならびに祝賀会が開催され、本年1月25日より正式にオープンしました。東大病院の小児科を始め小児の外科系診療科で、検査や治療が必要な遠方の患者さんのご家族が利用しています。きれいで明るく、とてもすてきなハウス、と利用者のお母様達から感謝の言葉が届いています。ハウスに負けぬようこれからも最高の医療を提供していくつもりです。温かくご支援くださいますようお願いいたします。

東京大学医学部院附属病院
副院長 小児外科長 岩中 翁



■ 北海道ガラス外装クリーニング協会

北海道ガラス外装クリーニング協会は清掃のプロフェッショナルの集団です。ハウスの趣旨を協会役員の皆さんに紹介したところ、支援方法を検討してくださりフローリング清掃とワックス掛け、窓の清掃、じゅうたんのクリーニング、エアコンの分解清掃などをボランティアで年に2回行つていただけることになりました。おかげさまで、ハウス内はいつも清潔な状態を維持できるようになり、さっぽろハウスは大変ありがたいサポートを受けています。



ボランティア活動助成

難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野等におけるボランティア団体への助成事業を行い、2011年度は4団体に助成をいたしました。

助成先	助成額
▶一般社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO	500,000円
▶子どもの心と身体の成長支援ネットワーク	300,000円
▶NPO法人奄美大島自然体験学校	152,700円
▶非営利活動法人アレルギーを考える母の会	150,000円
助成総額	1,102,700円



■ コヴィディエンジャパン株式会社

コヴィディエンジャパン株式会社は医療機器製造の販売および医療原料等の製造を行っている会社です。社会貢献活動の一環として、社員の皆さんのがせたがやハウスにて「ミールプログラム」を実施しています。「ミールプログラム」とは、ハウスを利用しているご家族へ食事を提供するボランティア活動で、食材の準備から調理、後片付けに至るまで全て行っていただきます。利用者の皆さんには病院での付き添いや看病で忙しく、食事を作る余裕がない方も多くて、病院から帰ってきてすぐに温かくおいしい食事をとれる「ミールプログラム」はたいへん喜ばれています。

■ プルデンシャル生命保険株式会社

プルデンシャル生命保険株式会社では社会貢献活動への取り組みとして、グローバルボランティアデーを実施しています。全世界で社員とその家族がボランティア活動に参加しており、仙台支社では2009年からせんだいハウスの清掃活動を実施しています。毎年40名から50名が参加され、特に網戸掃除を重点的にしています。とてもチームワークが良く、全ての網戸を外してあつという間に清掃取り付けをしていきます。日頃掃除ができない網戸なのでとても助かっています。



助成先からの報告

この度は、私ども「子どもの心と身体の成長支援ネットワーク」の活動にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。震災から1年以上が過ぎました。被災地の瓦礫は徐々になくなり、復興の道のりを進んでいることが目に見えます。しかし目に見えない心の問題はどうでしょうか。私たちネットワークは、その目に見ることはできない「心の問題」、特にこれから将来を担う子どもたちの心の問題をサポートするために立ち上りました。「遊び」も要素を重視した私どものキャンプでは、さまざまなプログラムと、広大な安全な環境の中で思う存分遊び尽くし、また常に寄り添ってくれる若いお兄さん、お姉さんの存在は、子どもたちから絶大な信頼を得ていました。この様な環境を作り出せたことは、多種職の専門的知識を持ったネットワークの互いの得意分野を生かした結果だと思います。この先数年、同じような活動をしてまいります。どうぞ末永くこの活動にご理解、ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

子どもの心と身体の成長支援ネットワーク
会長 古川 貞二郎



■高知ファイティングドッグス球団

四国4県と三重県に本拠地を置きプロ野球選手やメジャーリーガーを目指す野球選手育成のための独立リーグ「四国アイランドリーグplus」、そして高知県に本拠地を置く「高知ファイティングドッグス球団」からご支援をいただきました。8月8日(月)の愛媛マンダリンパイレーツ戦、8月10日(水)の福岡ソフトバンクホークス(3軍)戦で、ハウスのパネル展示やチラシ配布、募金活動、場内アナウンスでのPRの場をいただきました。また、観戦しているお客さんにWish Listを配布し、たくさんの物品がハウスへ届きました。高地ファイティングドッグス球団とハウスとの共通点である『地域に根ざした運営』地元地域のみなさまの理解を深めるため、これからも一緒に活動できればと思います。



■東京都民銀行

東京都民銀行が社会貢献活動として「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」に本棚を提供してくださいました。さらにお取引先の本屋にハウス支援の呼びかけをし、本棚に並べる本を多数ご寄付してくださいました。気分転換にいろんなジャンルの本が読めると滞在しているご家族は喜んでいます。

■チャリティー強化期間 in マクドナルド

11月18日(金)より全国のマクドナルド店舗でハウスの告知を行っていました。店内でお食事をされるお客様の目に付くようにトレーマットにて東大ハウスが開設されることの告知、さらにはテーブルテント、募金箱にもアタッチをつけてハウスの告知を強化していただきました。全ての店舗にて告知をしていただき、これまでハウスを知らない人にも知っていただくいい機会となりました。



小児がん医療を考えるシンポジウム

2月27日(日)名古屋大学医学部附属病院にて小児がん医療の実際を知り、病と闘う子どもと家族の支援を考えるシンポジウムが開催され、ドナルド・マクドナルド・ハウスの活動報告のために長瀬事務局長が招待されました。病院の先生方だけでなく女優の竹下景子さんや各分野の方々がパネラーとなりパネルディスカッションも行われ、400名を超す来場者が参加されました。シンポジウムを通じて、ハウスの活動を知っていただくいい機会となりました。



マクドナルド店舗の募金箱

マクドナルドは財団をサポートしてくださっている大きな支援企業の一つです。そして、何より感謝しているのが全店舗での募金箱の設置です。昨年は震災用の募金箱になっていた期間もありましたが、約7,300万円もの募金が集まりました。ここで集まった募金は全てハウスの運営費として使われ、ご家族に安心できる空間を提供しています。11月15日(火)よりシールのデザインが新しくなり、更にドライブスルー用の募金箱も設置いただけるようになりました。



府中ボランティアまつりに参加

11月12日(土)、13日(日)府中NPOボランティアまつりが行われました。これは府中市内のNPO、ボランティア団体、企業、学校による社会活動を府中市民に紹介するイベントです。このイベント会場にて「ふちゅうハウス」の活動を市民の方へ紹介しました。会場にはたくさんの方が足を運んでくださいり、そして、何と、前首相である菅直人さんも来場され、ハウスのことを知っていただくことが出来ました。



Topics 2011

財団活動トピックス 2011

チャリティーパーティー

10月24日(月)、毎年恒例のチャリティーパーティーが開催されました。ハウスをご支援頂いている支援者をご招待し、お礼を述べると共に継続的なご支援をお願いしています。今年は約400名の方にご参加いただき、460万円以上のご寄付を頂戴しました。今年は新たにブース出展コーナーを設けて支援企業の紹介やマクドナルドの店舗での取り組み、国内8号目となる東大ハウスの模型やバースの紹介をしました。多くの支援者に感謝を申し上げると共に、病気の子どもとその家族のためにハウスを一つでも多く建設していくよう今後も活動を継続していきます。



東日本大震災にも負けず

3月11日(金)14時46分、東日本大震災。せんだいハウスでは、地震発生直後より停電。その後ガスも止まり、さらに断水、もちろん電話も不通の状態でした。建物に大きな被害はありませんでしたが、ライフラインが全て停止している状態で36名の家族がハウスに滞在しました。余震が続く中、備蓄していた食料品や毛布を滞在家族に配りハウスマネージャーは1週間ハウスに寝泊りました。各ハウスからもマネージャーが交代でせんだいハウスに滞在し、一日も早く通常通りに運営できるように協力あいご家族の受入れを行いました。また東日本大震災に際し、多くの支援企業から水や食料品の提供、せんだいハウス復興に対しての寄付金をいただきました。皆さまの温かいご支援に感謝いたします。



いつもご支援くださっているThe Coca-Cola CompanyのVice PresidentであるJavier C.Goizueta氏は、ハウス訪問の際にせんだいハウスへの義援金として88,000ドルを寄付して下さいました。



また私達の仲間であるRMHC Taiwanも台湾にて日本の復興のために募金をつなり、255万円の寄付を送ってくれました。皆様の温かいご支援に感謝いたします。

宇都宮陽東ロータリークラブからの寄付

宇都宮陽東ロータリークラブにてハウスの活動紹介をしたところ、活動内容に关心を持ってくださいました。10月5日(水)に寄付金の贈呈式が行われました。贈呈式には、とちぎハウスのオープンの際にも駆けつけてくださった、栃木県の福田富一県知事もご参加ください、日々家族のために運営を行っているハウスと宇都宮陽東ロータリークラブに対してお礼の言葉を頂きました。



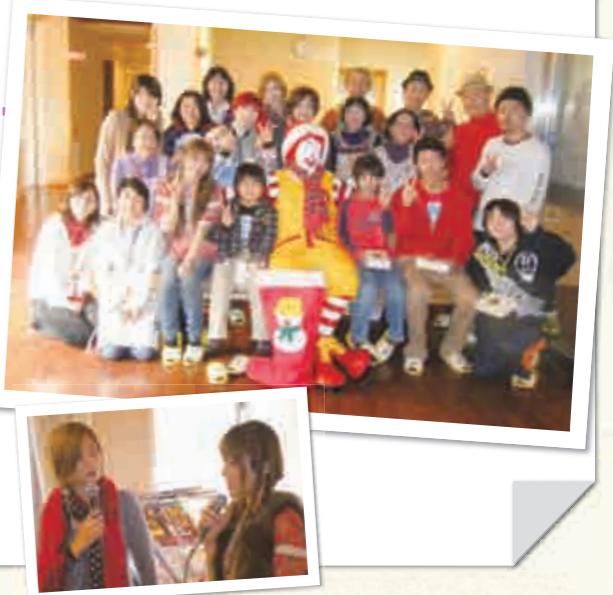
ハウスマネージャーセミナー

5月19日(木)、20日(金)の2日間、さっぽろハウスにてハウスマネージャーセミナーを実施いたしました。3月の震災を受けてのせんだいハウスの様子やその後の対応、今後の震災に備えてどのような準備が必要かなど話し合われました。さらにハウスでのホスピタリティについてなど、全ハウスマネージャーが意見を交わしながらの有意義な会議となりました。また6月にはアシスタントマネージャーセミナーが東京で行われ、アシスタントマネージャーの役割や求められていること、組織に関して、各ハウスの情報交換などが行われ良いトレーニングの場となりました。



クリスマスソングのプレゼント

12月22日(木)、FM OSAKA主催のクリスマスミニコンサートがおおさか・すいたハウスにて行われました。ゲストは今井絵理子さん、ET-KINGからイトキンさん、センコウさん、ブッヂさん、そして弓木英梨乃さん、果山サキさんの4組です。弓木さんのギターの弾き語り、果山さんの迫力ある歌声、ET-KINGの温かさと優しさたっぷりの朗読、そして今井絵理子さんの語りや歌、みんなの心に優しさが響きました。今年で3回目となるミニコンサートですが、季節を感じができるとご家族そしてボランティアの皆さんから大好評です。



とちぎハウス5周年記念会!

とちぎハウスがオープンして5年が経過しました。そこで自治医大とちぎ子ども医療センターを取り巻くボランティア3団体(とちぎハウス、花咲jii、自治医大とちぎ子ども医療センターボランティア室)で、9月10日(土)に自治医科大学にて記念会を行いました。自治医大とちぎ子ども医療センター長の桃井真里子先生からのご挨拶、自治医科大学の高久学長の記念講演「活き活き長寿のススメ」やボランティア表彰など盛りだくさんの内容でした。



オープンハウス!

地域の皆さんを始め、一人でも多くの方にハウスの存在を知っていただき各ハウスでオープンハウスを実施しました。



《ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた》

10月1日(土)にオープンハウスを開催。ハウスをサポートしているMOVEの皆さん、そしてハウスのスタッフで知恵を出しあい、誰もが楽しめるように手作りハーパティーのおもてなし、ドナルドショー、病院の先生との茶話会、ボランティア手作り作品の展示、スタンプラリーなどたくさんのイベントを実施しました。多くの方に来ていただけるよう事前告知も行い、なんと648名にお越しいただきました。また当日は募金の呼びかけも行い30万円以上の募金が集まりました。

《ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや》

12月4日(日)~18日(日)にオープンハウスを開催。ハウスの歴史、ご家族への応援メッセージ、寄付品の紹介、これまで紹介された新聞記事、ボランティアの皆さんの手作り作品の展示をし、多くの方にご覧いただきました。それ以外にいつもご家族の皆さんにボランティアで行っているフェイシャルマッサージや日本ロレアル株式会社によるタッチセラピーの体験コーナー、子ども達が楽しめる「ちっちの紙芝居」を行い、期間中466名がハウスを訪れ17万円以上の募金が集まりました。



《ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち》

5月20日(金)~6月10日(金)の期間中にオープンハウスを開催。ボランティアの方が育てているサツキをご覧いただきながら、ハウス内を自由に回る見学コースを作り、ハウスの歴史、ボランティア活動の展示を行いました。



せたがやハウス10周年記念講演会

日本国内で初めての建設された「せたがやハウス」も10周年を迎えることが出来ました。12月11日(日)に国立成育医療研究センターの講堂にて、国立成育研究センター理事長の加藤達夫先生、脳神経外科医長の師田信人先生、財団の長瀬淑子事務局長による講演会を行いました。また世田谷区の保坂展人区長も駆けつけてくださいり来賓としてご挨拶をいただきました。最後にはオープン当初からハウスで活躍をしてくださったボランティア33名の表彰を行い記念のピンズを贈呈しました。講演会後は場所をハウスに移し、立食パーティーydナルドも参加してのくじ引き大会を行い、みんなでせたがやハウス10周年を祝いました。



第13回 ドナルド マクドナルド ハウス チャリティゴルフ

12月12日(月)、素晴らしい晴天の中、病気の子どもとその家族の支援を目的として、毎年恒例のチャリティーゴルフが戸塚カントリー倶楽部にて開催されました。ハウスをサポートするために、深堀圭一郎プロや諸見里しのぶプロなど、多くのプロゴルファーが集まつてくださいました。そして、ハウスのチーフハビネスオフィサーであるドナルドも始球式に登場し、会場は大盛り上がりでした。今年は総勢160名の方が参加され、840万円もの寄付を頂戴しました。



『ハッピーリングプロジェクト』メッセージリング贈呈式

マクドナルド社は「ハッピーリングプロジェクト」と題し病気と闘う子どもたちとその家族へ向けた応援メッセージを特設webサイトに投稿し全国から元気、勇気を届けるプロジェクトを2010年秋に行ってくださいました。1月30日(日)、たくさんの方から投稿された3,810通のメッセージをスペシャルサポーターの今井絵理子さん、そして全国から集まった子ども応援サポーター8名と共にせたがやハウスに届けてくださいました。オリジナル記念オブジェ「メッセージリング」には、病気の子どもやご家族を励ます温かなメッセージがたくさん詰っていました。このオブジェの贈呈と共に、応援ソングまでプレゼントして頂きました。



特集 3

家族からのメッセージ

Messages From Families



阿部 真大くん
埼玉県 2歳 とちぎハウス

電車が大好きでプラレール遊びに夢中です。ハウスではボランティアの方達や沢山の寄付の数々を見て、とても素晴らしいことだなど感動しました。

森 夏歩ちゃん
滋賀県 7歳 おおさか・すいたハウス

退院後しばらくは、体育を見学したりお友達との遊びに気を使ったりしていました。また、インフルエンザの流行時期でもあったので、風邪をひかないように予防が大変でした。現在は、毎朝元気に徒步通学しています。大好きな体育も、クラスでの時間も目一杯楽しんでいます。



萩原 瑞優ちゃん
宮城県 1歳 せたがやハウス

仙台と東京の病院を定期的に通っていますが、毎日ニコニコ元気に過ごしています。言葉を覚え少しづつお話しするようになりました。好きな言葉はマンマン(アンパンマン)とバイバイです。



石田 莉乃ちゃん
宮城県 1歳 せんだいハウス

ハウス内は何でもそろっていて、食材やちょっと食べられるレトルト食品もあってすごくありがとうございました。



土谷 韶太くん
北海道 1歳 さっぽろハウス

長い入院生活から、退院することが出来ました。入院中は日々怖く、涙しました。そんな中、ハウスを利用しているご家族やみなさん何度もはげまされました。



山本 源粹くん
静岡県 9ヶ月 せたがやハウス

9ヶ月たった今も新生児科に入院していますが、退院までもうひと踏ん張り頑張っています。ハウスの設備の充実さ、ボランティアによるマッサージや髪切など癒しの時間を頂きました。



星野 日音くん
新潟県 1歳 とちぎハウス

最近は少しずつ家で過ごす時間が増えて嬉しいです。ハウスではふかふかのベッドで休み、ボランティアさんの作ってくれたごはんでも元気を充電できました。



吉本 光ちゃん
山口県 11歳 おおさか・すいたハウス

勉強も頑張り読書が好きで、図書館にいって色々な本を読んでいます。娘は食物アレルギーを持っているので、ハウスのキッチンで作って病院に持っていくことが出来て助かりました。



中村 健介くん
茨城県 12歳 ふちゅうハウス



快適な空間のハウスのおかげで、子どもを支えることが出来ました。ハウスに戻ると「おかえりなさい」と迎えられ、ホッとしました。

Messages From Supporters

応援メッセージ



残間 里江子 (プロデューサー)

ドナルド・マクドナルド・ハウスの存在を知ったのは、今から十数年前のこと。財団評議員の西村由美子さんの案内でアメリカ西海岸の施設を視察し、日本での実現を誓い合って、今は亡き開原先生に先頭に立っていただいて「マックハウスプロジェクト」はスタートしたのだった。

あれから時が経ち、施設数も十を超える勢いになり、一つ一つのハウスが地域の特色を活かしながら、ボランティアの人たちの手で細やかな運営がなされていることは「言いたしちゃ」の一人としては、人生の大きな誇りになっている。時節柄、いろいろ大変ではあるが、これからも軸足をブレさせることなく頑張って頂きたい。

残間里江子



仁科 亜季子 (女優)

私ががんになった当時、子どもは6歳と8歳とまだ幼く、親子が引き離される切なさ、悲しさ、辛さを体験しました。毎日のように「早く帰ってきて！」という子どもたちの思いが手にとるようにわかりましたが、立場が逆で子どもさん自身が病気と闘うとなれば、どれほど心細いか、計り知れないものがあります。それだけに、病院の近くに親御さんが滞在できる施設があり、一緒に病気と闘える環境を整えてあげることは、本当に素晴らしいことだと思います。今後もドナルド・マクドナルド・ハウスの活動に心から期待しております。

仁科
亜季子



川井 郁子 (ヴァイオリニスト)

私が世田谷のドナルド・マクドナルド・ハウスを訪れたのは、ちょうど七夕の季節でした。お隣の病院のエントランスにはとても大きな竹飾りがあって、沢山の短冊には、お子さんと親御さんの「一日も早く元気になりますように」という願いが沢山飾られていました。私もその竹飾りに心を合わせて祈りました。

ハウスには、ご家族の目線に立った心配りが随所にあって、とても温かい雰囲気でした。スタッフ、ボランティアの皆様がご家族と心を合わせて、生き生きとお手伝いをされていました。お母様同士が明るく励まし合い、おさんはいつもご家族の側で心強い気持ちでいらっしゃる。素敵なお絆が沢山ある場所でした。

多くの人の温かいサポートで、今後もますます素敵なお家屋でありますように! 心から応援しております。

川井
郁子



深堀 圭一郎 (プロゴルファー)

僕は、プロゴルファーという立場から、プロアマチャリティゴルフなどを通じて微力ではありますが、お手伝いさせていただいています。自分も1女の父親ですので、お子さんの闘病生活を支えているご家族のご苦労は感じています。自宅近くや遠征先にあるハウスへも何度か訪問しておりますが、伺う度にハウスの明るさはボランティアの方々がいてこそ成り立っているものを感じます。これからもハウスが増えて子ども達の笑顔、ご家族やボランティアの方々の明るい声が増えていくように応援していきたいと思います。

深堀
圭一郎

Financial Report

決算報告

正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

科 目		平成23年1月1日から平成23年12月31日まで		
		当年度	前年度	増減
経常増減の部	(1) 経常収益	1 財産運用収入 基本財産運用収入 特定資産運用収入	2,660,500 1,995,000 665,500	5,850,124 0 3,855,124
		2 ハウス事業収入 宿泊料収入 運営補助金収入 その他の収入	41,215,536 32,976,202 6,111,600 2,127,734	△ 1,092,748 5,270,302 △ 6,581,451 218,401
		3 寄附金収入 寄附金収入(マクドナルド) 寄附金収入(サプライヤー) 寄附金収入(一般) 募金収入	240,293,306 15,100,978 61,871,974 51,272,613 112,047,741	238,931,364 22,245,823 43,333,799 69,073,639 104,278,103
		3 会費収入	4,777,000	4,190,350
		経常収益計	288,946,342	291,280,122
	(2) 経常費用	1 事業費 (1) ハウス事業運営費 給料手当 光熱水料費 租税公課 減価償却費 その他の経費 事業関連経費 ボランティア普及費	192,075,460 190,930,880 61,232,881 24,347,195 11,466,600 55,749,385 34,355,019 3,779,800 0	202,167,631 200,957,631 58,037,330 23,768,556 578,639 10,676,998 789,602 676,734 △ 9,425,383 △ 5,800,494 △ 41,400
		(2) ボランティア事業 ボランティア助成費 ボランティア研修費 旅費交通費 会議費	1,144,580 1,102,700 0 21,000 20,880	1,210,000 1,210,000 0 21,000 20,880
		2 管理費 給料手当 旅費交通費 会議費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 印刷製本費 催事費 諸謝金 租税公課 雑費	52,394,257 8,920,255 3,573,098 537,627 196,611 2,154,548 17,702,536 2,564,100 7,794,988 1,243,700 1,392,700 6,314,094	40,334,182 9,934,908 2,267,495 1,305,603 97,551 107,149 553,888 7,015,646 4,219,075 461,323 435,200 758,400 5,990,395
		経常費用計	244,469,717 44,476,625	242,501,813 48,778,309
		当期経常増減額		△ 1,967,904 △ 4,301,684
経常外増減の部	(1) 経常外収益	配当収入 有価証券評価益 その他収入	450,000 615,000 2,728,860	450,000 3,855,000 0
		経常外収益計	3,793,860	4,305,000
		(2) 経常外費用 有価証券評価損 指定正味財産への振替額	0 0	0 0
	経常外費用計		0	0
	当期経常外増減額	3,793,860	4,305,000	△ 511,140
	当期一般正味財産増減額	48,270,485	53,083,309	△ 4,812,824
	一般正味財産期首残高	2,095,883,369	2,042,800,060	53,083,309
	一般正味財産期末残高	2,144,153,854	2,095,883,369	48,270,485
指定正味財産増減の部				
一般正味財産からの振替額		0	0	0
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高		522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高		2,666,834,754	2,618,564,269	48,270,485

貸借対照表

科 目			当年度	前年度	増減
資産の部	1 流動資産	現金 普通預金 郵便貯金 未収金 流動資産合計	2,826,146 94,711,131 11,937,881 0 109,475,158	1,877,245 68,847,918 24,450,801 0 95,175,964	948,901 25,863,213 △ 12,512,920 0 14,299,194
		基本財産	300,000,000	300,000,000	0
		特定資産	150,000,000 150,000,000	328,525,705 328,525,705	△ 178,525,705 △ 178,525,705
		その他の固定資産	1,541,352,008 11,771,364 15,859,772 5,337,983 76,440 279,125,569 0 31,155,000	1,590,339,723 13,217,735 19,725,474 6,830,705 76,440 11,473,560 0 30,540,000	△ 48,987,715 △ 1,446,371 △ 3,865,702 △ 1,492,722 0 267,652,009 0 615,000
	2 固定資産	ハウス建設積立資金 特定資産合計	150,000,000	328,525,705	△ 178,525,705
		建物	222,680,900	222,680,900	0
		構築物	522,680,900	522,680,900	0
		什器備品	11,771,364	13,217,735	△ 1,446,371
		ソフトウェア	15,859,772	19,725,474	△ 3,865,702
		電話加入権	5,337,983	6,830,705	△ 1,492,722
		建設仮勘定	76,440	76,440	0
		定期預金	279,125,569	11,473,560	267,652,009
		投資有価証券	0	0	0
負債の部	1 流動負債	預り金	△ 560	21,937	△ 22,497
		流動負債合計	△ 560	21,937	△ 22,497
	2 固定負債	固定負債合計	0	0	0
		負債合計	△ 560	21,937	△ 22,497
正味財産の部	1 指定正味財産	指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	522,680,900 (522,680,900)	522,680,900 (522,680,900)	0
		一般正味財産 (うち特定資産への充当額)	2,144,153,854 (150,000,000)	2,095,883,369 (328,525,705)	48,270,485
	2 一般正味財産	正味財産合計	2,666,834,754	2,618,564,269	48,270,485
		負債及び正味財産合計	2,666,834,194	2,618,564,206	48,247,988

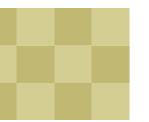
財産目録

科 目			当年度	前年度	増減
資産の部	1 流動資産	現金預金	2,826,146 373,023		
		現金手許有高	20,000		
		みずほ銀行新宿都心支店	36,725		
		社の都信用金庫宮城町支店	19,160		
		四国銀行高須支店	72,313		
	2 固定資産	りそな銀行千里北支店	66,709		
		足利銀行自治医大出張所	93,993,664		
		三井住友銀行麹町支店	25,011		
		北海道銀行新川中央支店	103,526		
		多摩信用金庫西国分寺支店	1,000		
		東京都民銀行春日支店			
負債の部	1 流動負債	郵便貯金	11,937,881		
		流動資産合計		109,475,158	
		(1) 基本財産	300,000,000		
		基本財産合計	222,680,900		
		(2) 特定資産	522,680,900		
	2 固定資産	ハウス建設積立資金	0		
		定期預金	150,000,000		
		建設仮勘定	150,000,000		
		その他の固定資産	1,541,352,008 11,771,364 15,859,772 5,337,983 76,440 279,125,569 31,155,000 1,884,678,136		
		その他の固定資産合計	2,557,359,036		
		固定資産合計	2,666,834,194		
		資産合計			
	負債の部	預り金	-560		
		流動負債合計			
		負債合計	-560		
		正味財産	2,666,834,754		



Financial Report

決算報告



Board of Directors, Councilors and Selection Members

役員・評議員・選考委員の紹介

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券…決算日の市場価格等に基づく時価法
(売却原価は総平均法により算定)によっている。

(2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
特定資産				
ハウス建設積立資金	150,000,000	0	(150,000,000)	0
小 計	150,000,000	0	(150,000,000)	0
合 計	672,680,900	(522,680,900)	(150,000,000)	0

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
土地	222,680,900	(222,680,900)	0	0
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	0	0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0	0
特定資産				
ハウス建設積立資金	150,000,000	0	(150,000,000)	0
小 計	150,000,000	0	(150,000,000)	0
合 計	672,680,900	(522,680,900)	(150,000,000)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	1,860,099,284	318,747,276	1,541,352,008
構 築 物	20,906,672	9,135,308	11,771,364
什器備品	69,551,010	53,691,238	15,859,772
ソフトウェア	12,552,440	7,214,457	5,337,983
合 計	1,963,109,406	388,788,279	1,574,321,127

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
運営補助金(自治医大)	0	3,354,500	3,354,500	0
運営補助金(吹田市)	0	2,757,100	2,757,100	0
合 計	0	6,111,600	6,111,600	0



役 職	氏 名	所 属
理 事 長	柳澤 正義	社会福祉法人恩賜財団 母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所 名誉所長
専 務 理 事	廣瀬 修	清泉女子大学 理事
常 務 理 事	島田 浩三	常勤
理 事	大野 晃 村上 陽一郎 鶴橋 誠一 有村 治子 ダニエル・H・セイヤー 炭谷 茂 ロバート L.ノディン 安田 智彦 好本 一郎	森永乳業株式会社 代表取締役会長 学校法人東洋英和女学院大学 学長 スターゼン株式会社 代表取締役会長 参議院議員 日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 社会福祉法人恩賜財団 済生会 理事長(元環境事務次官) チャーティス・ファー・イースト・ホールディングス株式会社 取締役 フジバンガループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長 日本マクドナルド株式会社 上席執行役員
監 事	二村 隆章 吉野 賢治	公認会計士 公認会計士
評 議 員	西村 由美子 残間 里江子 矢島 尚 ジェフリー・マクニール 宮田 佳代子 後藤 亘 大熊 由紀子 南 砂 佐多 保彦 佐藤 仁志 岡野 弘明 桃井 真里子	オーガストネットワークインク 代表 プロデューサー 株式会社ラップジャパン 取締役会長 Market Makers Inc. 代表取締役社長 フリーキャスター 株式会社エフエム東京 取締役相談役 国際医療福祉大学大学院 教授 読売新聞東京本社 編集委員 東機貿グループ各社 代表取締役社長 日本マクドナルドホールディングス株式会社 取締役執行役員 日本マクドナルド株式会社 コーポレートリレーション本部 CSR部長 自治医科大学 小児科学 教授
選 考 委 員	丸木 一成 堀口 雅子 栗山 真理子 阪井 裕一	国際医療福祉大学 医療経営管理学科 教授 虎の門病院産婦人科 元医長 NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」専務理事 国立成育医療研究センター 総合診療部 部長



Our Supporters

サポーター紹介

Gold Sponsor



Silver Sponsor



株式会社アグレッシブスタッフ

有限会社アルファイン



クオリティーフーズ株式会社



シオノギ製薬

清水建設株式会社



株式会社仙台にしむら

株式会社匠



株式会社ドリーム

株式会社ノモト

株式会社ビッグタイム



有限会社ベルエキップ

株式会社豊昇



株式会社遊



Gold Sponsor

日本コカ・コーラ株式会社
日本マクドナルド株式会社

Silver Sponsor

CARGILL MEATS (THAILAND),Ltd
J.R. SIMPLOT CO.
Lopez Foods, Inc.
OSI GROUP LLC
RMHC Taiwan
Rose Packing Company, INC
株式会社アグレッシブスタッフ
有限会社アルファイン
株式会社イナ・ベーカリー
エコラボ株式会社
オレンジベイフーズ株式会社
クオリティーフーズ株式会社
ケンコーマヨネーズ株式会社
塩野義製薬株式会社
清水建設株式会社
スターゼン株式会社
住金物産株式会社
株式会社仙台にしむら
株式会社匠
デルマール株式会社
株式会社東京都民銀行
株式会社ドリーム
株式会社ノモト
株式会社ビッグタイム
株式会社富士エコー
フジバングループ本社株式会社
有限会社ベルエキップ
株式会社豊昇
一般社団法人北海道ガラス外装クリーニング協会
三井物産株式会社
森永乳業株式会社
株式会社遊
レモンガス株式会社

Bronze Sponsor

AQロジスティクス株式会社
UCC上島珈琲株式会社
NPO日本移植支援協会
株式会社アクネスラボ
味の素株式会社・味の素冷凍食品株式会社
株式会社アドバンス
アボットジャパン株式会社
株式会社アメリカ
株式会社アルゴ
伊藤ハム株式会社
植田製油株式会社
株式会社ウエル企画
株式会社ヴォイスワーク
株式会社エムアンドエイチ
オオタケ環境計画株式会社
カゴメ株式会社
医療法人社団 堅江会 はたクリニック
有限会社キノシタ
キユーピー株式会社

株式会社グッドイーティング
コヴィディエン グループ ジャパン
株式会社小松崎
サンウエーブキッチンテクノ株式会社
讃陽食品工業株式会社
株式会社ジェイアール
株式会社スコレ 従業員一同
西南開発株式会社
医療法人草恵会草刈内科医院
大昭和紙工産業株式会社
大同印刷株式会社
有限会社タイメイコーポレーション
株式会社タカコーポレーション
株式会社匠ファミリー会
タビーコーポレーション株式会社
株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン
株式会社電通
東京コカ・コーラボトリング株式会社
トキア企画株式会社
栃木県軽自動車協会
トライフォース青山 柔術スタジオ
株式会社ドリーム 従業員一同
株式会社中西製作所
株式会社名古屋光商事
南国青年会議所
新村印刷株式会社
日経BPコンサルティング
日世株式会社
社団法人日本ゴルフツアーミュージック
日本ゾーディアック株式会社
有限会社布屋
株式会社ハーベスト
株式会社バーベン
ヒロフーズ株式会社
有限会社フォース
福岡大同青果株式会社
富士通株式会社
富士プロート株式会社
ブラジリアン柔術・父親の会
北海道小樽高等支援学校 生活技術科
有限会社ホット・ショット
医療法人社団まきだクリニック
株式会社マルマサフード
三菱UFJ信託銀行 かけはし信託 愛の基金
株式会社美濃吉食品
社団法人ミリタリービリーブハート
みんなで協力3の1
株式会社明治
メロディアン株式会社
株式会社遊 従業員一同
株式会社横河設計工房
株式会社吉川油脂
理研ビタミン株式会社
リコー社会貢献クラブ・FreeWill
株式会社リバーサイドコーポレーション

Bronze Sponsor (個人)

Martin and Julia Pinkston
粟國 朝嗣・さやか・はんな
稻田 恒子

岩瀬 直子
上島 昌佐郎
鶴橋 誠一
梅田 淳
梅谷 孝
岡本 桂一
開原 成允
門脇 弘子
北田 幹雄
喜谷 喜夫・昌代
櫛山 博
熊沢 由美
小泉 清則
小泉 雅子
小見山 智恵子
榮木 実枝
サキナキング
サキナクイーン
サキナナカマド
佐多 保彦
沢 真由美・由起子
重富 正寛
柴田 かおり
柴田 幸子
島田 浩三
志村 寛・いずみ・つばさ・暁
杉本 譲
Smile Heart
竹内 久雄
谷本 竜之佑
玉井 宏明
鳥居 幸廣
中村 一郎・田鶴子・義昭
西田 省三
野中 圭樹
秦 堅佐工
原田 泳幸
原田 和浩
原本 俊則
菱沼 秀仁
深井 裕介
深堀 圭一郎
村田 雅夫
北東 哲也・美苗・澪
細谷 亮太
前納 健二
松尾 龍介・孝介・唯美
松村 英里菜・ダウデン
松村 治美
村尾 泰幸
山元 徹
山本 昌
山本 博三
吉岡 貴志
吉田 久
好本 一郎
渡辺 政弘
渡辺 優
(50音順)



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティース・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階
TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198
www.dmhcj.or.jp

